

質疑・質問

武田 雅司 議員



(一問一答方式)

- ① 決算カードの利活用
- ② 国土交通省の氾濫被害再計算
- ③ 在宅医療・介護の充実
- ④ スクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラー

決算カードの利活用について

問 決算カードで明らかに
なる実質公債費比率、地方債

現在高、積立金現在高などの決算
に基づく各種数値について、市と

してどのように理解され、今後の
財政運営を図っていくつもりなの
か。

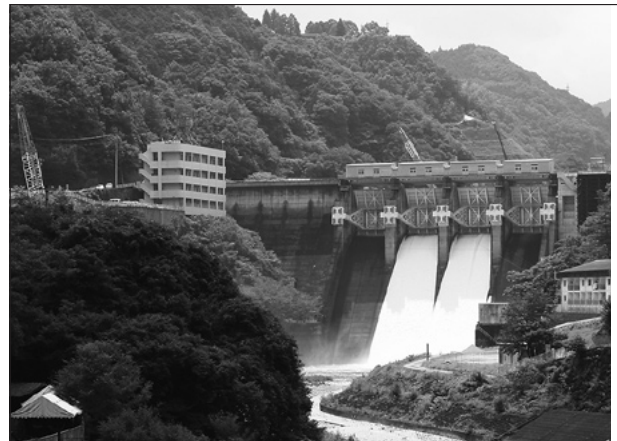
答 決算カードに示されている各
種財政指標の分析に努め、財
政の健全性の維持に努めるとも
に、歳入においては財源の確保
を、歳出においては経費節減を念
頭に置きながら、安全・安心なま
ちづくり、活力ある地域づくりの
実現に向けた財政運営、維持可能
な財政運営に努めていきたいと考
えています。

国土交通省の氾濫被害再計算
について

問 近年、想定を超える短時間強
雨などの大雨が局地的に多発
していることを受け、国土交通省
は新たに想定最大規模の降雨量
を見直し、氾濫による被害を再計算
した。

国土交通省は、この新想定が山
鳥坂ダム建設や鹿野川ダム改造、
堤防整備などが盛り込まれた肱川
水系河川整備計画に影響を与える
ことはないかと説明されているが、
これらの整備事業等を行う上での
根拠となる想定雨量等が今回見直
されたのにもかかわらず、整備事
業等をそのまま継続するとなる

肱川水系河川整備計画に基づき整
備が進む鹿野川ダム改造事業



と、その大義名分はどのような
のか。

答 今回、公表された想定最大規
模降雨については、千年に一
度よりさらに発生する可能性は低
いということを国からは伺ってい
るところです。

このような洪水に対して、施設
で守り切るということは財政的に
も、自然環境の面からも非常に困
難であるということ、今まで経
験したような降雨に対しては、引
き続き施設による防御をすること
が効果的であり、計画規模を上回
るような洪水については、施設整

備とあわせ、避難などのソフト対
策の実施がさらに重要であると考
えています。

スクールソーシャルワーカーと
スクールカウンセラーについて

問 スクールソーシャルワーカー
は、県内19市町に25人配置さ
れ、スクールカウンセラーは県内
に34人配置されているようである
が、本市では現在何人配置されて
いるのか。また、今後スクール
ソーシャルワーカーやスクールカ
ウンセラーをそれぞれ何人ぐらい
配置する必要があると思ってい
るのか。

答 本市の配置状況は、スクール
ソーシャルワーカーが1人、
スクールカウンセラーは4人と
なっています。現在、それぞれが
有効に機能いただき、さまざまな
問題に適切な対応ができている状
況です。

今後、さらに諸問題に対応する
ため増員が必要となった場合に
は、子供が安心して意欲的に学校
生活を送ることができるよう、配
置の拡充を検討している国の動向
を踏まえ、県教育委員会と協議を
行っていくと考えています。